

1号機タービン建屋における マルチコプター「RISER」による 線量評価の適用性試験

2017年4月27日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

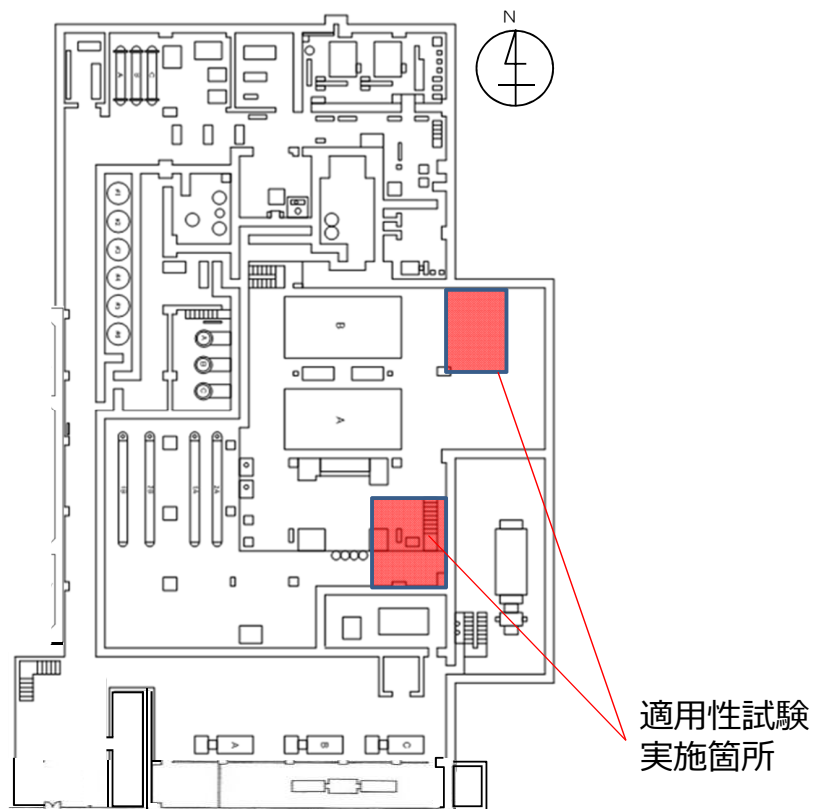
マルチコプター「RISER」による線量評価の適用性試験



- マルチコプター「RISER」については現在線量評価の適用性試験を実施中であるが、この一環として1号機タービン建屋において以下の通り適用性試験を実施
- 適用性試験の結果は取りまとめて報告

実施日	2/21	2/22~23 4/3~6	4/14, 17
実施場所	3号逆洗弁ピット	3号タービン建屋	1号タービン建屋

適用性試験を
追加で実施



適用性試験
実施箇所

【参考】マルチコプター「RISER」について



RISER本体

開発元	英国 CREATEC社及びBLUE BEAR社 共同開発機体
線量計	CZT半導体検出器 ～10mSv/hまで測定可
バッテリー	LiPOバッテリー 10000mAh 22.2V
寸法	W930×D830×H160
重量	約4Kg
飛行時間	約15分
カメラ	HDカメラ2台(前方、下方) 画質最大2592×1944～最小352×288
搭載センサー	LiDER(垂直、水平)、加速度センサー、 ジャイロセンサー
特徴	非GPS環境においてもレーザーを使用すること により、自己位置推定をしながら自律飛行し、 リアルタイムでの汚染状況及び3次元復元図を生 成することが可能。同社N-Visageシステムを使 用することにより、遮へい効果を加味した詳細解 析が可能。